



※本文に記載のある施設の位置は裏面に示しています。

令和6年度がスタート

今年度、当事業は引き続きピークを迎えており、職員も昨年度より3名増え、益々頑張っております。
昨年は、6月に台風・梅雨前線の影響で、県内の広い範囲に被害をもたらしました。引き続き気候変動から、いつ気象災害に見舞われるか分かりません。

今年度の出水期から、名草排水機場[和歌山市]、栗栖1号支線水路[和歌山市]、住吉川放流工(六箇井水路)[岩出市]、高嶋排水機場[紀の川市]、粉河排水路(小田井水路)[紀の川市]、大溜池調整池[紀の川市]等が供用開始され、既に供用開始した施設とともに排水効果の発揮を期待しております。

今後も、豪雨等による地域の湛水被害の防止・軽減のため、残る施設の早期完成を目指してまいります。

事業所長 佐藤 毅

工事進捗状況

令和5年度完成・令和6年度本格供用を開始する施設を紹介

①名草排水機場(和歌山市)

和歌山市和田地区において、令和元年から工事を実施していた名草排水機場の**遊水池**が令和6年3月に完成しました。これにより、新機場を本格稼働することができ、排水能力は旧機場の約1.4倍($7\text{m}^3/\text{s} \rightarrow 10\text{m}^3/\text{s}$)となることから、地域の湛水被害の軽減が見込まれます。

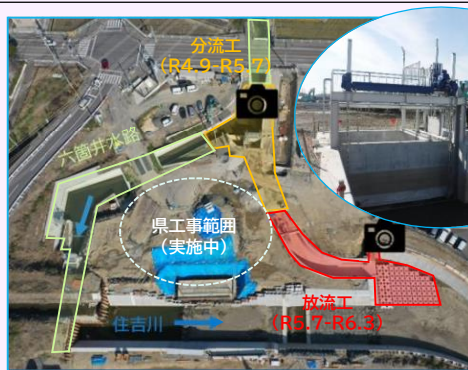
今年度以降も名草排水機場へつながる名草排水路の整備を予定しており、地域の皆様には引き続き交通規制等ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



②住吉川放流工(岩出市)

岩出市中黒地内において、令和5年7月から工事を実施していた住吉川放流工が令和6年3月に完成しました。現在は、場内の周辺整備を実施しています。

これにより、先行して工事が完了していた分流工と合わせて供用することができ、大雨時には六箇井水路から $5.25\text{m}^3/\text{s}$ もの水量を住吉川へ排水することが可能になり、地域の湛水被害の軽減が見込まれます。



←ゲート操作により
六箇井水路から分流

↓住吉川へ放流



③高嶋排水機場(紀の川市)

紀の川市桃山町調月において、令和3年2月から工事を実施していた高嶋排水機場の場内整備工事に加え、老朽化が進んでいた旧機場の撤去工事を終え、令和6年3月に完成しました。

新機場の完成により、排水能力が従来の1.3倍($1.0\text{m}^3/\text{s} \rightarrow 1.3\text{m}^3/\text{s}$)に増加しました。

新機場は令和5年6月の大雨時にも稼働しており、今後も地域の湛水被害の軽減に大きく貢献することが期待されます。



知識

遊水池とは？

排水機場には、機場に流入する排水路の末端に遊水池が設けられます。

遊水池の設置により、排水路の流量とポンプの排出量との差による水位変動が小さくなり、ポンプを連続的に運転することができるようになるため、効率的な排水が可能となります。

②住吉川放流工(岩出市)

